

令和5年度 狛江市一般会計補正予算(第2号)

【補正予算 概要】

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した住民税非課税世帯への特別給付金を実施する経費を計上するとともに、東京都の子育て世帯への独自の支援策として実施する妊婦健康診査の拡充や、東京都の委託事業として、運動部活動の地域移行等に向けた実証実験を行う経費などを計上するものです。

【補正予算額】

3億798万円 (うち、物価高騰対策 2億8,865万円)

【主な事業】

款	項目	事業名	補正額 (単位:千円)	事業内容	担当課 【問い合わせ】			
1	3	1	1	38	住民税非課税世帯特別給付金	288,650	電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯に対し、1世帯あたり、3万円を給付する。	福祉相談課長 杉田(内線2215)
2	4	1	1	8	母子保健事業関係費	11,715	妊婦健康診査での超音波検査について、厚生労働省が示す望ましい基準は4回だが、現状の公費負担は1回であり、安心して出産できるよう都制度が拡充されるため、3回分を増額し、4回分全てを公費負担とする。	健康推進課長 布施 (03-3488-1181)
3	10	3	2	5	部活動助成	5,366	部活動の地域連携・地域移行に向けた実証事業として、2種目(野球・サッカーを予定)の運動部活動で拠点となる中学校に、他の中学校から生徒を合流させた合同部活動を編成し、実施・検証を行う。	指導室長 松岡(内線2335)
4	10	5	1	12	地域学校協働活動推進事業	1,500	全中学生を対象に、キャリア教育の一環として、トップアスリートの「生き方」や「考え方」に触れることにより、夢に向かって努力する姿勢、困難に立ち向かう意欲を培うとともに、「普遍的な価値」と「スポーツの求心力」等に触れ、自己のキャリア形成の構築に資する講演会を実施する。	社会教育課長 鎌谷(内線2375)
5	10	6	1	6	市民スポーツ振興費	10,050	健康体操を通じた、子育て期の母親のスポーツ実施率の向上と、健康促進、体力向上を目指し、運動の習慣化による健康づくり事業を実施する。	社会教育課長 鎌谷(内線2375)
(主な事業) 合計			317,281	—	—			

【補正予算全般に関する問い合わせ】
狛江市 企画財政部 財政課長 古内
電話 代表03-3430-1111(内線2415)